

浅科人権文化センター運営委員会議事録

日 時	平成29年4月20日(木) 19時00分～ 20時00分	開催場所 上原同和教育集会所	時間 1時間
出席者	浅科人権文化センター運営委員会委員9名 市民健康部長・人権同和課長・人権同和係長・浅科人権文化センター館長・人権同和係・生活人権相談員		出 9人 欠 1人
提出資料	浅科人権文化センター事業報告及び事業計画		
1	<p>開会 司会 人権同和課長</p> <p>委嘱書の交付・・・新委員 佐藤工委員、丸山和之委員、山岸明雄委員、竹内博生委員へ交付</p>		
2	部長あいさつ		
3	自己紹介		
4	会長の選出 会長は山岸明雄氏に決定		
5	会長あいさつ		
6	職務代理者の指名 職務代理者は高野清雄氏に決定		
7	<p>会議事項 議長に山岸会長</p> <p>議 題</p> <p>(1) 平成28年度浅科人権文化センター事業報告について</p> <p>説明・・・ 人権同和係 浅科人権文化センター担当</p> <p>質疑応答</p>		

委員・・・教室等例年同じような教室を行っていると思うが、参加者数の動向はどうか？また、センターだよりなど配られたものを見ると、人権啓発講座を各教室で開催したようだが、参加者はどれぐらいいたか？

事務局・・・参加者数は、書道教室は大人の教室も児童書道教室も毎週あるが、人数が減ってしまっている。一方手芸などは広報を見て新たな申し込みがあり、わずかだが増えた。また、地域福祉事業の長生き会は、高齢化により、体調を崩す人もいたりして人数が減ってきているのが課題。

人権啓発講座は、私が赴任してくる前は、講演会だけを開いたところあまり参加者がいなかったようなので、一昨年から普段、教室を利用している人に教室の時間内で人権啓発講座を開催している。27年度は人数の多いパソコン教室と絵手紙教室で開催し、28年度は手芸教室と大正琴教室で開催した。こちらは両方とも10名前後が登録している教室なので、参加者が25名となった。

(2) 平成29年度浅科人権文化センター事業計画について

説明・・・人権同和係 浅科人権文化センター担当

質疑応答

(3) その他

委員・・・先ほど部長のあいさつの中でも触れていたが、昨年「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行された。こちらが施行となった経緯は、国の方で前あった法律をもう部落差別はなくなったなどと言ってやめたが、悪質な事件が起こったりしてやはり必要だということで施行になった。こちらの法律では、人権啓発事業の強化、相談事業の強化等を言っている。今年度の予算はもう間に合わないが、それに合わせた予算化を市民健康部としてぜひやってもらいたい。

また、佐久市になってからの人権啓発活動は浅科村の時の1/10に減っている。1年に一度は中央の講師をよんでやってもらいたい。東京からの講師はダメ。関西の講師の方が内容が充実していていい講演会ができるので、関西から呼んで講演会を開催してもらいたい。

こちらのセンターでは、隣保館とは、公民館との違いなどの講座を教室に通っている人対象に開催している。中央隣保館や望月でも1年に1回ぐらいやった方がいい。

また、佐久市では相談員という大変良い制度がある。現在週4日勤務と大変中途半端である。相談事業の強化ともあるので、ぜひ週5日勤務にして充実した相談体制を持ってもらいたい。